

道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～

令和元年5月30日(第6号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 体育祭が無事終了しました。 ◆◆

今年度は、予行演習の延期があったものの、延期もすっぱりと決断できたように、基本的に天候を心配することなく体育祭当日を迎えることが出来ました。ただ5月とは思えないような気温上昇から、熱中症に気をつけての実施となりました。

開会式の校歌から気持ちのこもった歌声に、すでに体育祭の成功は約束されているような予感を持ちながら、駆けつけてきて下さる数多くのご来賓の皆様と、生徒の活躍を見守りました。



競技はなかなかの接戦で進行し、各カラーの見所が発揮されましたが、徐々に赤組が大きな得点を得るようになってきていたようです。



上の3枚の写真はブロック表現に臨む各カラーの一場面です。ブロック表現は当日の完成度も生徒たちには大切なのは当然のことですが、南郷中学校として見たときには、その過程が最も大切な学習であり、経験だと考えます。上級生は動きを教えることはもちろん、調和のとれた一体感を意識できる心情・態度をカラーに育てていかねばなりません。実際にそれを成し遂げていく過程の中で、南郷中学校にとって一番大事な「自立」と「共生」が作られていくように思えます。



なお、どのカラーも工夫された演技を披露し合った結果、ブロック表現演技賞は青組が獲得しました。テントで来賓の方々には、体育祭の印象や南郷中学校の生徒に対しての印象を伺いました。生徒はどのカラーも間違いなく優勝を目指して全力で競い合っていました。でも、勝つためにギスギスした態度を見せる生徒がいません。相手を蹴落としてでも勝者になろうとしているのではないのです。自分のあらゆる限りの力を尽くして、その先の結果が優勝であると良いなと願って頑張っているのです。観覧して下さった来賓の皆様からそんな声を頂きました。

力は抜きません。400mをアンカーとして駆け抜けた3位を走る赤組アンカーの姿勢は、感動を呼び、赤組を奮い立たせたように思います。

結果発表は、左の写真の通りです。最後は赤組が今年度の勝者となりました。解団式に臨む青組・黄組の3年生の姿は、決して敗者ではありません。それぞれやり遂げ感を持って、心からの言葉を下級生に伝え、次のリーダーを育ててくれていました。今日までの努力に感謝し、お疲れ様でしたとねぎらってあげたいです。

今回紹介できなかった旗の写真は、次号で紹介させていただきます。お楽しみに。

◆◆ 10人のリーダーの「感じたこと」を、何号かに分けて順次紹介します。 ◆◆

体育祭実行委員長 3年C組

私は、意気込みの方で、「昨年よりもすばらしい体育祭にしてみせます。」と言いました。ですが、全体練習や予行練習は、はっきりいってあまりよいものとは言えず、係の仕事を忘れてたり、私語が多く、行動がおそいなど課題が多くあり不安でした。しかし本番では自分の係を忘れず、しっかりと行動できていて、今回の体育祭を通して、1人1人が成長できたのではないのでしょうか。またスローガンで、それぞれのブロックの風を巻き起こし、威厳のある姿で全員が1つの輪になろう、とあるようにブロックごとで団結し、それぞれの個性を出し合いつつも全校生徒が1つの輪になれたような気がします。今回の体育祭、思いっきり楽しみ、良い思い出を作りつつ、1人1人何かを学び成長できたのなら嬉しいです。短い時間でしたがありがとうございました。

赤ブロック ブロック長 3年B組

私は体育祭を終えて、仲間と団結することの大切さそして楽しさを、改めて知ることができました。体育祭の準備から本番まで、赤ブロック全員で協力してダンスを考えたり、リレーの順番を考える毎日に青春を感じました。本番では赤、青、黄色ブロックの全員が活躍し、一生懸命楽しむことができた自信を持って言えます。今年の体育祭は南郷中の生徒全員が競走する中で、同時に「共走」もすることができていたと思います。三年生はもう最後の体育祭が終わってしまいましたが、この最高に楽しかった経験をバネに、百人で一歩ずつ前進できると良いと思います。三学年のみんな、各ブロックの人達、先生方、私をサポートして下さいありがとうございます。

赤ブロック 副ブロック長 3年B組

体育祭お疲れ様でした。私は体育祭前日、すぐ眠りにつくことが出来ませんでした。それはもちろんわくわくしていたというのもありましたが、体育祭の予行で3位だったからです。「勝ちたい」という気持ちがある中で、不安の方が大きかったです。私は開会式で優勝旗を返す役だったので、当日は閉会式でもう一度優勝旗を持つことが出来るのか不安でした。しかし、赤ブロックの一人ひとりが「勝ちたい」と思い、小さなことから行動にうつしてくれたから、総合優勝を勝ち取ることが出来たと思います。今までで一番あつという間で笑顔だった体育祭でした。

赤ブロック 旗長 3年B組

皆さん、体育祭お疲れ様でした。そして、旗係の皆さん、長くもあり、短くも感じられた約1ヶ月間、こんな私についてきて下さり、有難うございました。実をいうと、私は旗係の経験が無かったにも関わらず、今回旗長となったため、分からないことだらけで、同じ旗係の方々にとっても迷惑をかけてしまうことも多々ありました。けれども旗係のみんなは、とても優しく笑顔で接して下さったため、最初から最後までとても良い雰囲気でも活動することが出来ました。しかし、結果旗賞はもらえないと分かり、悔しい思いでいっぱいでした。申し訳ない思いでいっぱいでした。そんな思いの中でのブロック集会、私は前に出て話さなければならなかったのですが、涙が込み上げてきて、話すことが出来ませんでした。そんな私に赤ブロックの皆は拍手をして、「私達にとっては1番の旗だよ。」と言ってくれました。その時、私は「赤ブロックで良かった」と思いました。誰かがつらい思いをしている時、悲しい思いをしている時、手をさしのべ、笑いかけ、元気づけられる、そんな赤ブロックの一員でいられて良かったなど心から思いました。もちろん、旗賞を取れなかったことは悔しかったのですが、取れなかったことを感じることでできた思いがあったため、取れなくて良かったなど、今では思えます。皆さんと一緒に、この体育祭を楽しめて良かったです！有難うございました。

黄ブロック 副ブロック長 3年C組

今年の体育祭で私が思ったことは、「ありがとう。」この一言です。人をまとめるという難しい仕事をさせてもらい、迷惑をたくさんかけてしまったのに、責めずについてきてくれた黄色ブロックのみんなありがとうございます。たくさんけんかして、ぶつかりあって、それでも一緒に走り抜いてくれたブロック長ありがとうございます。そして、辛い時、相談にのってくれた友、支えてくれた友、元気づけてくれた友ありがとうございます。私はこの体育祭感謝と楽しかったという思いでいっぱいです。この体育祭が来年からできなくなると思うととても悲しいけれど、私にとっては最高の思い出となりました！今度は文化祭。全力で盛り上げて楽しみます！

それぞれに思いがあつて、生徒の言葉を借りれば、「青春だなぁ」って感じます。次号でも引き続きリーダーの声をお届けします。お楽しみに。

◆◆ またあつてはならない事件が県内で発生しました。しばらく通学路パトロール行います。 ◆◆

とても残念な事件だと思います。体育祭で素敵な経験を積んだ南郷中学校生徒とはあまりにも異なる現実、悲しくなるとともに、難しい時代なのかなと思います。亡くなられた方のご冥福をお祈りします。